

「板橋産とうふを作ろう」

12月6日エコポリスセンター

中国・シンガポール・マレーシア・インドネシア・フランス・バングラデシュ・イタリア・トリニダードトバゴの日本語学校生と活動

外国人のみなさんがおもしろかったこと

🌸🌸「みんなで一緒に袋を絞ったこと」

🌸🌸「とうふを固めるにがりがおもしろい」 🌸🌸「みんなと一緒にとうふを作って全部おもしろかった。」 🌸🌸「大豆からたくさんの料理が作られることに驚いた。」

🌸🌸「日本のもやしは根がないことがすごい。」 🌸🌸「日本で大豆を使う歴史が長いこと。」 🌸🌸「おからを炒めるとおいしいと思う。」 🌸🌸「とうふはもともと四角形だと思っていた。」 🌸🌸「とうふを作るときに同時に豆乳もできること。」 🌸🌸「液体のとうふをしぼるとき。」 🌸🌸「ミキサーで大豆をつぶすこと。」 🌸🌸「中国人だけでなくフランス人やシンガポール人などと日本語で交流できることがよかった。」 🌸🌸「味はちょっと苦いがおいしいです。」 🌸🌸「やわらかくて味がうすい」

今後つくりたい料理は

「メキシコ料理・和菓子・手作りラーメン・おから料理・餅・天ぷら・とうふと納豆料理・そば・みそ汁」

紹介したい料理は

「チキンライス・バングラ料理・麻婆とうふ・イタリア料理・トリニダードトバゴ料理・四川省の燃麵・焼肉・ワンタン・中華まんじゅう・肉まん・酸辣湯」

周りの人に伝えたいこと

「とうふの作り方・大豆の知識・大豆からできる様々な料理・身近な食べ物を大事にする」

SOE NEWS

No.150 記念号

2019.2



センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア



風とながよし

板橋第六小学校◎1年生 58人◎1月22日

校庭に日差しがたっぷり注いでいた大寒の入り。

「今日は本当に楽しかった!!」



🌀風車が風で回るのがすごかった。
🌀風と一緒に遊んだ気がしました。風は優しかったです。🌀風がないのに風車が回るのがふしぎ。🌀風はいろんなところにいるんですか？🌀風ってどこから来ているんだろう。🌀風はなぜ起こるんだろう。🌀風車も紙トンボも楽しくてみんなが笑ってよかったな。🌀もっともっと自分で作って遊びたい。🌀風はいろんなものを浮かばせていろんな仕事をしているな。寒くさせるのが仕事だと思っていた。🌀風はちょっとなのにならまわるのは風より多かった。🌀風で遊べるように力で動いているんだね。🌀うちでも作りたいたのでがんばりたい。🌀風車や鯉のぼりやたこあげなどは風の方に頼っています。🌀ぜひ学校が休みの日に公園でやってみたい。🌀風車は風で回ったけれどにんげんは全然吹き飛ばされない。🌀風がないと遊べないものもあるんだ。🌀カミコプターがなんか本物のとんぼみたいでおもしろかったしふしぎだった。🌀風は遊べることも生活に役に立つこともできる。

担任◎上村愛・松田尚子 各先生より「子どもたちが最初から最後まで楽しく活動できたので、お願いしてとてもよかったと思いました。紙芝居の導入・動くおもちゃを作ることが子どもを引き付けていたと思います。教室のカーテンがふわりとなれば『風』プリントが飛ばされると『風』と見えなかったものが見えるようになりました。」



紙芝居「風の子フーのなみだ」



きつねのしっぽり「とるよ～とられないよ～」

“キノッキオ”がいる 新河岸小～冬の校庭探検と木の顔

新河岸小学校◎1年生 36人
1月19日◎学校公開

「ゴーという風の音を
聞いた。」

「枝の先につぼみがつ
いている。」



こどもたちが考えた木の顔の名前 ◎「そらたろう(くぼみを目にした)・にっこりかお(「△」をぼうしにつけた)・アンパン太郎(「○」をほっぺに)・ニコニコ顔(鼻を「○」にした)など

☑とっても楽しかった。 ☑アリって冬になると中に引きこもるんですね。 ☑冬ははっぱのない木もあるんですね。 ☑キノピオニできるからやっているよ。

☑木にも命があるって初めて知りました。 ☑キノピ

オたいちょうって名前をつけた。 ☑木も命があるんだな～。 ☑冬の自然～寒くなったこと。 ☑木に顔があるのがわかりました。 ☑木に顔がついているなんて初めて知りました。 ☑いろんな顔があっておもしろかった。 ☑木の実、はっぱのない木新しい実がある木。 ☑鳥の巣があった。葉っぱのない木がたくさんあった。

☑桜の木に木の実が咲いているのかな。 ☑葉っぱは木にがっしり付いているのに、なんで風で、はっぱは落ちるのかな。 ☑木は生きているんだな～。 ☑鳥の鳴き声や風の声がしました。 ☑おもしろかったのは、木に目をはることです。 ☑アンパンの顔がおもしろかった。 ☑草が生えていなかった。 ☑負けられない木やいい匂いの葉っぱを見つけました。

担任◎丸山奈緒子・小岩井政広各先生「秋とくらべると冬の自然を探るのは難しいと考えていたが、《見る・聞く・さわる・かぐ》など様々な感覚を生かし活動できた。木の皮に注目して、自然のおもしろさを感じる経験ができた。互いの班で作ったものを見合い認め合う活動がよかった。」



冬の光が丘公園たんけんと木の顔づくり



顔のパーツは
こどもたちの手づくり

赤塚新町小学校◎1年生 38人
1月15日

「顔がしゃべり出しそう
だった。」
「木も生きている」
「冬なのに木は春のじゅ
んぴをしている。」
「めちゃくちゃ楽しかった！」



こどもたちが考えた木の顔の名前 ◎「お化けくんの顔・わらいかお・メイクの顔・鼻水



を付けたかんちゃん・ホソッキーなど

☑木は新しい芽を作って春のじゅんぴ
をしていました。木の名「でっくん」

☑ダンゴムシが丸まっていた。冬なの
に、カブトムシの死体があった。☑葉

っぱが少ししかない木がある。木の名「なん
でも食べるくん」木も口も大きいから。

☑夏のよう虫の音が聞こえない。木
の名「ぴよたん」☑木の名「ナウシカ」

ナウシカのような心になってほしい。次

の時はとおりぬけオニをクラス対抗でやりたい。☑木に赤

い芽が生えていた。さおりさんチームがかいたまつげが、
カタツムリだったので、おもしろかった。☑木の名前「キ

らちゃん」「エミリ」おもしろかった気持ちやうれしい気持ち
がいっぱい湧いてきて楽しかった。☑風がふいていなか

ったのに寒かった。☑なんで冬は寒いのだろう。☑枯れ
ている葉っぱがいっぱいあった。☑冬なのにセミの抜け殻

があった。☑葉っぱが落ちていない木があった。みんなの
さくひんが力作できていておもしろい。☑顔をつけた

ら、木が歩きそう！☑カブトムシは何で死んじゃったん
だろう。



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp

夢は実現するまで追いかけていく

もとにもどせないものが、地上に増え続けている。
灰色の未来がじりじりとせまる。
と 闇の中に光が見えた。
21世紀後半に、大きな穴の開いたオゾン層が
ほぼ回復するという。
世界の人々のフロンガス使用禁止努力によって。
夢は実現できるものなのか。
私たちも千里の道の二歩目を迎え、
15年間の環境学習のとりくみと
150号目のニュースを手に
おそろおそろ前へすすむ。

夢は実現するまで追いかけていくために。

2019年2月4日 立春の日
NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
代表 寺田茂

